

心と命を守る行動とは

コロナ時代の「生き方」考える 愛知の中学校

収束の気配が見えないまま一年以上が過ぎた新型コロナウイルス。この感染症を、自身の「生き方」について考えるきっかけにしてもらおうと取り組んだ中学校がある。責任ある行動とは何か、なぜ偏見や差別が生まれるのか…。総合学習の時間を中心に、さまざまな教科で多角的に学ぶことで、生きていく上での問題解決能力を身につけてもらうことを目標に掲げた。

「感染症から身を守る私たちの衛生プロジェクト」。

愛知県尾張旭市の旭中二

年生三百九十八人が、二月月中旬から一月にわたって取り組んだのは、各付けて命を守るには何をすればい

自身の観察から

「観察」することからスタートに答え、自身を必要とした。アンケートは全十八項目で、いずれも自身の傾向を四段階で評価。他の生徒と比べてどこが高いか、低いかで数値で分かる。プロジェクト後に自分の意識がどう変わったかを



グループで話し合い、自分の課題の解決方法を考える生徒たち＝愛知県尾張旭市の旭中学校で

知る手立てにもなる。「手洗いをしない」「感染者らに近づきたくない」といった課題を認識したら、次は「方向付け」だ。「上なりたい自分になるのを阻んでいる理由を洗い出す。その上で「決断」「実行」。スナイホムがでない理由を「友達に誘われると断りにくい」「家

いかに考えていった。

(編集委員・安藤明夫)

る興味を持つ」を実行しようとした。全員が自分で話し、基準を設定。一週間におた合おう！ 大事な大事な友達か感染しないために「なできたかを確認した。

プロジェクトを最終日なプロジェクト最終日なプロジェクトを、近隣の四小学校に贈る予定だ。期間中は、あらゆる教科

に、教諭の中武裕加さんで感染症に関わる事柄が扱

た。呼び掛けた。「でき

できなかったこと

を考えてみよう」

多様な学び実践 海外ニュースや音楽活用

興味を持って実践した意

実践しているの三つ。一

「プロシエクト」を企画した

「プロシエクト」の目的は、

「プロシエクト」の目的は、

「プロシエクト」の目的は、